

町政懇談会 会議録

1. 開催日時

平成22年11月23日(火・祝日) 午前10時00分～正午

2. 対象地区・団体

戸中自治区

3. 代表者名

戸中自治区長 新澤豊二(参加者数:21名)

4. 開催会場

戸中集会所

5. 町出席者

町長 伊藤 勝・建設水道課長 酒井誠明・商工観光課長 新田新也

企画情報課長 杉原徳夫・同課広報広聴係長 鈴木洋祐

6. 町議会出席者

長谷沼清吉議員・五十嵐忠比古議員

7. 町政方針説明

ツキノワグマによる被害で有名になってしまった。これらの状況も人口の減少などが原因となり、里山の管理が行き届かなくなったことに原因があるのではないかと考える。合併当時から見れば人口の減少が著しく、半数近くとなり大変大きな課題となっている。簡単に人口を増やすことはできないが、現状打開のきっかけに、私は交流人口を増やすことを考えている。多くの方々に町に訪れてもらう、その取り組みにより経済が活性化され、結果としてここで収入を得て暮らしていける環境づくりを構築していくということである。厳しい現状の中ではあるが、私なりのビジョンを持っており、それについて多くの方々が真剣に考えてもらえる機会となれば、それ自体も大きな成果だと思う。みんなが参画しての地域づくりを進めていかなければならないし、そんな組織をしっかりと作っていきたい。町の良さをPRし、四季折々の魅力を発信し、その時々にもまた訪れたいと思われるような取り組みが大切である。

先日、橋屋地区のソバ会に参加してきたが、私の食券は490番近い数字だった。2時間待ちですというお客さんもいたくらい盛況であり、当日券を求めることもできなかった方もいたようである。始めてから数年経つそうだが、来年も期待して訪れる方もいることから、始めてしまうとやめることはできない。これを繰り返すうち、収益を施設整備に充てより良いサービスの提供を目指すことにつながり、これらの取り組みが一定の利益を得る事業として発展し、それが地域の活性化につながる。町が誘導す

るようなことは一切無い中から、そのような取り組みが各地で始まっていることが地域の元気の起爆剤になっていくし、さらなる発展を期待したい。

このような話をしているのも、自分たちの地域でも何かできるのではと話題にするきっかけ、行動するきっかけになればとの思いからであり、そうなればそれだけでもすばらしい取り組みになると考えている。町としては、地域の方々の一生懸命にやろうとすることに対して目を向けながら、支援をしていく体制を充実させていきたい。

8. 事前協議事項

① 町道野沢柴崎線の整備見直しについて

(自治区長) 現在の進捗状況について伺いたい。一部供用が始まってから一般車両の交通量が増えているものの、戸中から橋屋までは農道のため幅員も狭く、車両のすれ違いなどで不安の声が出ている。数力所、待避所も設置されているが、降雪前に簡易舗装を行うなどの対策をお願いしたい。

(建設水道課長) 町道野沢柴崎線の戸中・橋屋間の整備については国の補助金を活用し実施している。しかし、政権交代による事業仕分け作業などで補助金制度が不透明な状況であり、今後の動向により影響を受けることが予想される。現時点での町の整備計画では、平成23年度に用地測量、平成24年度に用地交渉、平成25年度から3年間で道路改良を行うこととしている。一番の課題である阿賀川の橋の架け替えは、これまで県代行工事で実施されるよう県に強く要望しており、継続して要望を行う。平成24年度に採択となるよう取り組んでおり、採択となれば平成28年度には完了できるのではと見込んでいる。

昨年度、交通量増加に伴い待避所を設置したが、降雪前には舗装を行い除雪にも影響のないよう対応したい。

② 町道横断のための対策について

(自治区長) 今の町道整備により道路が寸断されたような状態にある。

(五十嵐議員) 交通会の立場から、申し上げる。県の公安委員会との関係があるので、町と共に要望をしていきたい。後日、現場の確認をしたい。

③ 除雪について

(自治区長) 路面圧雪について対策をお願いしたい。

(建設水道課長) 町では、降雪が15cmになると除雪作業を行い、圧雪層が10cm以下となるようにしている。戸中・橋屋間は吹き溜まりが発生しやすい箇所である。パトロールを随時行っているが、交通に支障があると判断されれば早朝除雪に限らず除雪を行うこととしたい。

なお、吹き溜まりについては道路改良が完了の後、吹き溜まりの程度を見極めたうえで吹き払い柵の設置などを計画したいと考える。それまでは圧雪除去で対応したい。

④ ホタルの里づくりについて

(自治区長) 当地区はホタルが多く発生する場所である。農地・水・環境保全向上対策事業における環境対策の一環として「ホタルの里づくり」を計画している。町の指導やアドバイスをお願いしたい。

(商工観光課長) 町内各地において地域の活性化に向けて取り組んでいる、またこれから取り組もうという各種団体に対して、町では会議などに職員が参加し事業の進め方や補助金などに対するアドバイスを行うなどの支援を行っている。昨年、奥川地区では「地域づくり会議」という組織が立ち上がり、遊休施設を活用したソバ祭り、農村体験などをはじめとする様々な事業に取り組んでいる。また、新郷地区でも体験型グリーンツーリズムを目指した「寺前自然塾」が活動を開始している。

ホタルの里づくりについても、地域としてみんなで取り組もうということであれば、町でも積極的に支援していきたい。平成24年度からは国の事業として、農家民泊や各種体験を行う農山漁村子ども体験事業という取り組みが全国の小学生5年生、約120万人を対象に行われることとなっている。当地区のホタルの里づくりが軌道に乗れば、農作業などとの組み合わせで誘致活動にもつながるものとする。どのようなことでも良いので、地域おこしに関わる相談があれば問い合わせで欲しい。

8. 意見交換

(意見) 中学校付近に勤めに行くが、通学途中の生徒が左右に分かれて歩いている。車で通るにも危険な思いをしている。左側に統一して歩くなどの指導していただきたい。

(企画情報課長) 担当課に伝え、対応をお願いする。

(意見) 町道改良のために道路の路肩に測量杭が打ってあるようだが、完全に打ち込まれていないので車で乗り上げたりすると危険である。

(建設水道課長) 測量杭は危険なようであれば、業者に指示して打ち込みを行う。

(意見) 舗装に合わせて、待避所の延長はできないか。

(建設水道課長) 延長ができそうな場合は、舗装時に延長するよう検討したい。

(意見) 農地・水・環境向上保全対策事業は継続されるのか。また、代わるものが見込まれるのか。集落活動の支援としても非常に役立っている制度なので、継続願いたい。

(企画情報課長) 県からの説明では、内容の変更はあるかもしれないが、たぶん継続されるのではないかとのことである。

(意見) 集落内にある防災道路を町に寄付したい。管理は草刈りなど集落で行っている。個人の土地を利用している状態で、寄付することにより町管理としてもらいたいとの思いがある。可能であれば、どのような手続きが必要か。

(町 長) どのような形であっても、通常の道路管理はお願いすることになると思う。いずれ現状の確認は行うようにしたい。

(自治区長) 防災道路となっている部分は分筆登記などしていないと思うが、どのような処理がされているのか気になる。課税の対象になっているようでは困る。

(商工観光課長) 税制面では現状が把握されていれば、分筆登記などを行わなくても免除は可能だと思います。主管課で連絡調整がされているかだと思われます。

(町 長) ホタルはそんなに多く出るのか。カワニナが多いということなのか。

(意 見) すぐ近くの沢にたくさん出る。源氏ボタルはいないが平家ボタルがたくさんいる。

(意 見) バイパスが横断するところに、ピットというか深い枠がある。危ないので手すりを付けてもらえないかと思う。付けるという話もあったかと記憶している。

(建設水道課長) 現地を確認するので、立ち会いをお願いしたい。

(意 見) 集落内にU字溝が入っているが、水が流れないため浄化槽の利用に困る。少しずつでも流れるようにする方法はないか検討して欲しい。

(町 長) 水をどこから持ってくるかが課題である。

(建設水道課長) 簡易な方法があるか、今後現地確認を含め検討したい。

(意 見) U字溝が道路面より低いと、道路が崩れてしまう。

(建設水道課長) 現地確認のうえ、検討したい。

～ 以 上 ～